様式第17号(第43条関係)

|  |
| --- |
| 年　　月　　日出雲市消防長　　　　　　　　　様住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　職業(職)　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(所有者、管理者)　 　　　　　　　　　　火災損害届(不動産、動産用) |
| 1 | り災日時 | 年　　月　　日　　時　　分頃 | 損害見積額 | 不動産　　　　　　　　円動産　　　　　　　円 |
| 2 | り災場所及び対象名 |  |
| 3 | り災建物の構造・規模 | 構造 | 造　　　　　葺　　　　　張 |
| 階層 | 地上　　階　　地下　　階 | 延面積 | m2 |
| 4 | り災建物の経過 | 建築年月 | 　　　　年　　月 | 建築・購入金額(土地代を除く。) | 円 |
| 購入年月 | 　　　　年　　月 | 建物の用途 |  |
| 増(改)築年月 | 増(改)築概要 | 増(改)築面積(m2) | 増(改)築金額(円) |
| 　 | 　 | m2 | 円 |
| 　 | 　 | m2 | 円 |
| 5 | 建物以外の不動産り災状況 | り災物件名 | り災種別 | 数量又は面積 | 取得又は建築年月 | 取得又は建築金額 |
| 　 | 焼損・水損・その他 | 　 | 年　月 | 円 |
| 　 | 焼損・水損・その他 | 　 | 年　月 | 円 |
| 6 | 火災保険の契約 | 保険会社名 | 不動産・動産の別 | 契約年月 | 保険金額(万円) |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 7 | 今後の連絡先 | 住所　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　電話 |

　(注)　動産がり災した場合は、り災物件明細書を添付してください。注意事項

　1　この届出は消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。

　2　この届出の提出がなければ、り災の証明書を発行できない場合があります。

　3　この届出は、建物1棟ごと、又は所有者ごとに作成し、り災した日から起算して5日以内に提出してください。

　4　この届出には、動産がり災した場合り災物件明細書を添付してください。

記入要領

［4の欄］ 　1　建築購入金額は、り災した建物の総建築費又は総購入費を記入してください。

　　　　　　2　建物の用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場等、り災前に使用されていた用途を記入してください。

　　　　　　3　建物を建築又は購入してから、り災するまでの間に増、改築した場合は、具体的に記入してください。

　　　　　　4　坪をm2で表す場合は、3.3倍してください。

［5の欄］ 　1　り災した物件の欄は、へいの類、庭木の類、物干台などり災した物件を記入してください。

　　　　　　2　り災種別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。ただし、焼損、水損、その他の意味は次のとおりです。

　　　　　　　　(1)　焼損　焼けたもの、熱で変質、変形したものなど

　　　　　　　　(2)　水損　消火するために、ぬれたもの、こわれたもの、よごれたものなど

　　　　　　　　(3)　その他　煙でよごれたもの、運び出すときこわれたもの、避難するときこわしたものなど

［6の欄］　 1　不動産、動産の別欄は、建物又は家財道具一式、書画、骨とう、貴金属、什器、備品、内部造作等契約内容を記入してください。

◎　不明な点の問い合わせ及び提出は、次の消防署へしてください。

○出雲消防署　0853―21―6926

○出雲西消防署　・本署　0853―43―8119

・佐田分署　0853―84―0915　　・多伎分署　0853―86―2149

○平田消防署　0853―63―5519

○大社消防署　0853―53―2373

○斐川消防署　0853―72―0800

　　　　　　　調査担当者

　　　　　　　氏名

り災物件明細書

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 品名種別 | り災種別 | 購入年月 | 数量 | 単価 | 購入金額 | 損害見積額 |
| (記入例)冷蔵庫 | 商品、原材料製品、その他 | 焼損 | 20年3月 | 1 | 120,000 | 120,000 | 12,000 |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
|  | 商品、原材料製品、その他 |  |  |  |  |  |  |
| 記入要領 | 損害見積額合計 |  |
| 　1　品名の欄は、テレビ、冷蔵庫、洋服タンス、机、水盤、ふとん、背広、和服等具体的に記入してください。なお、借家で内部造作した場合「内部造作」と記入してください。　2　り災種別の欄は、焼損、水損その他の別を記入してください。　　(1)　焼損とは、焼けたもの、熱で変質、変形したものなど。　　(2)　水損とは、消火するために、ぬれたもの、こわれたもの、よごれたものなど。　　(3)　その他とは、煙でよごれたもの、運び出すときこわれたもの、避難するときこわしたものなど。　3　損害見積額は、り災した物の時価を基準にして被害の程度により損害額を見積もってください。 |